

## 【現場における頭頸部外傷の緊急対応】

グラウンドで選手が倒れている！

意識の確認を行う

【意識なし】

- ・ 協力者に119番とAEDの要請をする。
- ・ 呼吸の確認を行う。
- ・ 熟練したTRが頭部を固定・安定させる。

【意識あり】

無理に動かさないで、そのままの状態より、生命の徴候を観察しながら、症状の確認を行い、主訴を聞き出す。

【呼吸なし】

防具を外し、一次救命処置(心肺蘇生法・AEDを用いた除細動)を開始する。

【呼吸あり】

生命の徴候を観察しながら、その場で救急隊の到着を待つ。

【運動・知覚の異常あり】

頸部に痛みがある、手足が動かない、力が入らない、感覚がない等の異常があった時は、すぐに119番の要請を行い、その場で救急隊の到着を待ちながら、症状の経過観察を行う。

【運動・知覚の異常なし】

異常が特になければ、サイドラインに移し、脳震盪の確認を行う。

- ・ 気道確保した状態より人工呼吸2回行う。(フェイスシールドやポケットマスクの利用)
- ・ 心マッサージ(胸部圧迫30回と人工呼吸2回)開始。
- ・ AEDが到着次第、すぐに装着する。
- ・ 救急隊に引き継ぐまで処置を行う。

- ・ もし意識が回復したら、無理に動かさないで、そのままの状態より生命の徴候を観察しながら、症状の確認を行い、救急隊の到着を待つ。その時にAEDは外さず装着した状態のままにしておく。
- ・ 行ったすべての処置について、全員で記録を残しておく。

【脳震盪の症状あり】

何かおかしい  
症状が悪化している

以下のような症状が見られたら、すぐに119番の要請を行い、症状の経過観察を行い救急隊の到着を待つ。

- ・ 激しい頭痛
- ・ 吐気・嘔吐
- ・ 目がかすむ、物がだぶって見える
- ・ 手足に力が入りにくい。痺れるような感じがする など

症状が回復している  
回復しつつある

15分以上症状がみられた時は、その後のプレイを中止する。当日は、一人にならないように経過観察をする。

【脳震盪の症状なし】

症状を客観的に評価した後、全く異常がみられない時に限りプレイ可能／復帰しても良い。

